



僕が教科書に!?

きっかけは、ある小学生の読書感想文でした。

私の一冊 紹介文

題名
『めいせいの災害救助犬 被災犬「じゃがいも」の挑戦』

私の一冊『めいせいの災害救助犬 被災犬「じゃがいも」の挑戦』

これまで読んだ中でいざば心に残っているのは山口常夫さんの『めいせいの災害救助犬 被災犬「じゃがいも」の挑戦』だ。

ためになる本も楽しい本もいろいろ読んでみたけど、何かあってもこの本を読んでいるとじゃがいもは何かあっても挑戦しつづけて元気をくれるのはやはりこの本だと田んぼ。

めいせいの災害救助犬 被災犬「じゃがいも」の挑戦は、被災犬のじゃがいもは、東日本大震災で4日10日に避難してきた犬を災害救助犬にしつづけて思い練習をして試験に何度受けてもあきらめずに挑戦することをお話だ。

この本を読んで印象に残った文は「被災犬であるじゃがいもが、たくさん田んぼをのりこえて災害救助犬として活動すること

がかなし井のつづく被災地の人たちの助けになり、たくさん人が被災地を被災犬のことを応援しつづけてくれること

でもあきらめず、合格をめざしてました。だから式典に落ちるがあるその中で印象に残っているのは、「式典に落ちてもあ

きらめず合格をめざしてましたのです」という文だ。そこから私の上村ちえ子さんのやる気と努力をすごく感じた。

このように災害救助犬になるためにはじゃがいものようににしなければいけないことが分かった。この本にはすごく大切



じゃがいもがセンターに引き取られ、災害救助犬を目指して努力する姿を中心に、家族と離れて暮らす被災犬たちの日常などを紹介。東日本大震災を知り、現状を打破する前向きな力がもたらされる一冊になっています。是非ご覧ください

